



## 1年生になったら(2)

### 小学校入学に向けて② ～「遊ぶ」ことの大切さ～

小学校の授業では、教室で椅子に座り、先生の話静静地に聞いたり何かを覚えたりするイメージがありませんか？もちろん知識を受け取る学びは大切ですが、最近では自ら課題を見出し、友だちと協力しながら解決策を探していく「主体的な学び」も大切にされています。こどもたちが日常の生活や自由な遊びを通して身近なものごとに興味や関心を持ち、より深く知りたいと思うことも「主体的な学び」に繋がっています。

「遊ぶ」ことはこどもの育ちにとっても大切です。小学校に通うこどもたちにとって、遊ぶことにはどのような良さがあるのか考えてみましょう。

#### **何度でも試すことができる**

こどもたちは遊びを通じて、楽しみながら失敗やチャレンジを繰り返し、試行錯誤しながら自分の力でより良いやり方を見つけていきます。「できるようになるってうれしいな」という喜びはやる気につながり、「次はこんなふうに試してみよう」と工夫する意欲が自然に育っていきます。

#### **集中する力が育つ**

好きなことに夢中になっている時には、こどもは自然に集中しています。興味があることにじっくり取り組める時間を大切にしましょう。動くことが好きでなかなかじっとしてられないお子さんも、しっかり体を動かして遊んだ後のほうが落ち着いて学習に取り組みやすいです。軽く体を動かす時間をこまめにとるのもおすすめです。

#### **ストレスへの対処**

学校で一日がんばってきたこどもたちには、上手に疲れをいやして次の日も元気にすごしてもらいたいですね。そんな時に助けになるのが「好きなことをして遊ぶ時間」です。ちょっとつらいことがある時にも「自分には大好きな〇〇があるから大丈夫！」と心の支えになり、ストレスから心身を守るのに役立ちます。

「～のため」という目的にとらわれず、ただ純粹に「好き」だから行うのが「遊び」です。からだところをのびのびと遊ばせて、自分らしくすごせる時間を大切にしたいですね。